



目指す児童像	し	自然に親しむやさしい子	令和6年5月16日 平戸市立志々伎小学校 文責 校長 山田 泰生 No. 6
	じ	自分で学び考える子	
	き	気力・体力を高める子	
	小	将来の夢をめざす子	

ふるさとに誇りをもち、文化をつなぐ

毎朝、挨拶運動をバス停付近で行っております。早い子で7時過ぎには登校してきますので、私も7時ごろ挨拶運動に行きます。

そこで、車の方に挨拶をします。ほとんどの方は、車の中から笑顔で会釈を返してください。なかには、わざわざ窓を開けて、挨拶を返してくださる方もいます。挨拶をしている私たちもまた、朝から元気をもらいます。長年培ってきた挨拶運動という「文化」を感じずにはられません。〔志々伎小学校（当時の5・6年生）の挨拶運動は、善行児童として、平成25年度に長崎県教育会から表彰されております。〕

子どもたちの多くは、元気よい挨拶ができます。

その中でも、〇〇〇〇さんの挨拶はとても素晴らしいです。声も大きいし、しっかりと相手向き、頭を下げ、相手に心を届ける挨拶ができています。毎日素晴らしいと感心しています。〇〇〇〇さんも素晴らしいです。大きな声で挨拶し、しっかりと頭を下げる挨拶ができます。

また、頭の下げ方などの動作から、心の伝わる挨拶ができるのが〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんです。感じの良い挨拶がいいです。

そして、□□□□さんをはじめ、多くの方が挨拶運動や子どもたちの見守りをしてくださっています。志々伎地区の素晴らしさを感じます。児童の皆さんはこのようにふるさとで育っていることを、誇りをもってほしいです。

交通安全や
挨拶運動の
イラスト

児童の皆さん、この素晴らしい文化が、君たちが大人になっても残っていたら、素晴らしいと思いませんか。皆さんはその文化をつくっている一員です。この素晴らしい「ふるさとの文化」を、次世代につなげていきましょう。

行事の価値について

雨天のため運動会が一週間延期となりました。子どもたちのモチベーション低下を懸念していましたが、練習風景を見ると全力で頑張っています。

学校では、運動会を通して子どもたちを成長させようとしています。運動会などの行事は、「終わればよい」「参加すればよい」というものではなく、「行事後の学校生活の質を高める」ことが大切だと思っています。今のところ、全児童が一生懸命に取り組んでいます。特に、出番が多くある6年生の成長が楽しみでなりません。

5・6年担任の〇〇先生が本当に頑張っています。また、全先生方が、運動会の成功を通して、子どもたちに達成感と成長を感じさせるため、全力を尽くしています。